

二児の母、女優・木村佳乃さんも推薦！
毎日のせいかつの中で、子どもたちの“生きる力”がつく！
頭のいい子を育てる『できるよ！せいかつ366』

2016年11月2日（水）発売 全国の書店・ネット書店にて発売

株式会社主婦の友社は、シリーズ累計60万部を突破した「頭のいい子を育てる」シリーズ最新作『できるよ！せいかつ366』(https://www.amazon.co.jp/dp/4074144867/)を11月2日（水）に発売いたします。



大ベストセラーの「頭のいい子を育てるシリーズ」の『頭のいい子を育てるおはなし366』、『しぜんとかがくのほっけん！366』に続く第3弾は、“せいかつ図鑑絵本”です。1日1ページ、366日分、毎日の生活の中で、子どもたちの、“できるようになりたい！” “やってみたい！” “知りたい！”ことを集めました。

「暮らし」「食べ物」「ことば」「運動」といった、子どものときに経験しておいてほしい基本的なことから、「行事」、「仕事」「知識」など、親子で知っておきたい伝統や慣習、いまの時代の常識まで、1冊で多彩な14ジャンルを網羅し、子どもたちの“生きる力”を育てます。

子どもたちのやる気スイッチをオン！



●せいかつの中で子どもの“できる！”を伸ばす

「鉛筆の持ち方」「ぞうきんぼり」「ふろしきづつみ」や「整理整頓」など、今どきの子どもたちが苦手で、かつ、くらしの中で身につけておきたい基本的なことを取り上げています。実際に子どもがチャレンジしているようすを撮影し、リアルな子どもの目線ととらえた写真で、わかりやすくやり方を紹介しています。



●子どもたちの憧れの仕事や、物づくりだす仕事の工程を紹介！

子どもたちが憧れる職業ランキングより、“サッカー選手”や“アイドル”、“花屋”さんなどの仕事内容や、どうしたらその職業につけるかをご紹介します。また、“ランドセル”や“アニメーション”、“おかし”や“アイス”など、ふだんの生活で使っているものや見ているもの、食べているものが、どのように作られているかのおどろきの工程が、写真で見てわかります。



●生きていくためのコミュニケーション力をつける！

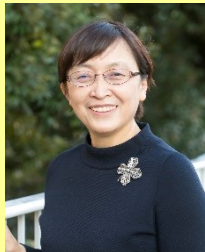
“あいづち”や“クッションことば”といった、人と人とのコミュニケーションをスムーズにするためのことばや、「やめて！」「たすけて！」といった、自分の気持ちを相手に伝えるためのことばの使い方を掲載しています。子どもたちの成長に欠かせない“コミュニケーション力”は、生きる力を支え、伸ばします。

『できるよ！せいかつ』

宮里暁美先生 監修
B5変型 416ページ 価格：本体2300円＋税
978-4-07-414486-0

【総監修】
宮里暁美先生

国立大学法人
お茶の水女子大学
人間発達教育科学研究所教授
文京区立お茶の水女子大学
こども園園長



子どもの姿に「耳を澄ますこと、目をこらすこと」を心がけ、30年以上、保育の現場や保育者養成に従事。お茶の水女子大学付属幼稚園の副園長を7年間務める。十文字学園女子大学幼児教育学科教授を経て、2016年4月より現職。子どもたちや親たちとともに、季節を味わいながら過ごす日々を重ねている。著書に『子どもたちの四季』（主婦の友社）。3児の母。

【先生よりメッセージ】

この本のテーマは生活です。「生活」とは、「世の中で暮らしていくこと」です。「世の中で暮らす」、つまり「生活する」ということは、毎日人とかかわって過ごすということ。この本は、日々変化する生活の中で、みなさんが体験していることを集めて、わかりやすく紹介しています。

この件に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。
株式会社主婦の友社 広報・宣伝課
pr@shufutomo.com
TEL. 03-5280-7577 FAX. 03-5280-7578